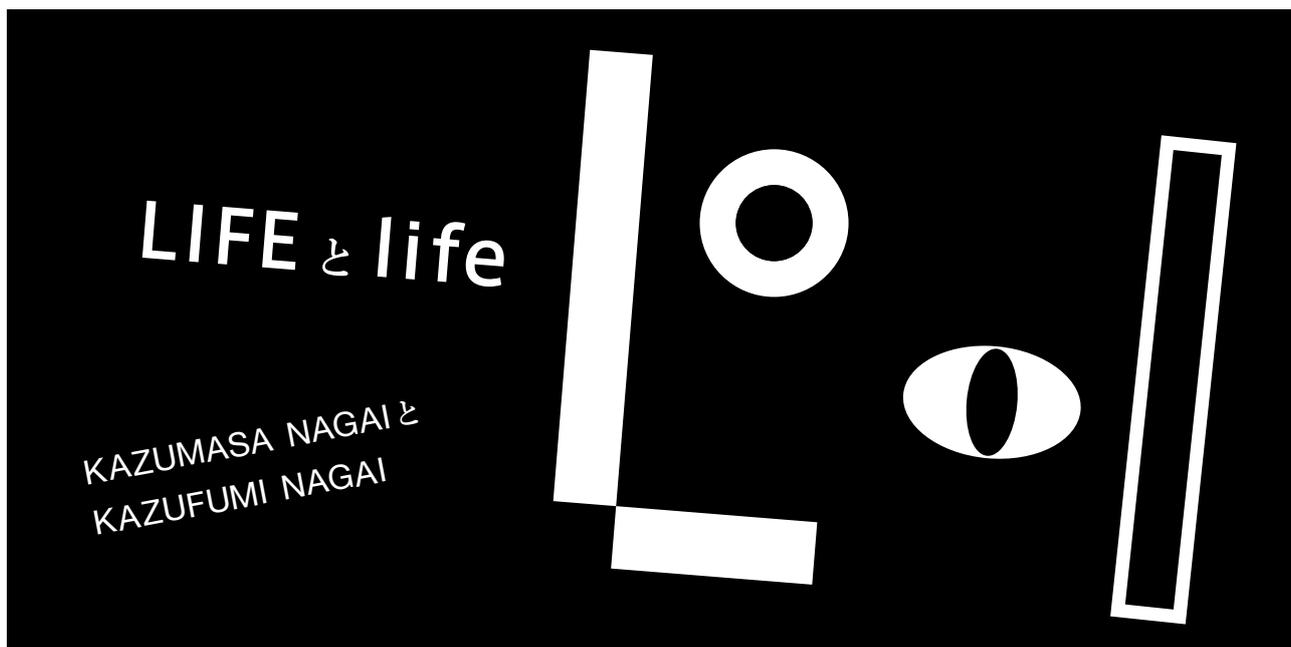


# 永井一正と永井一史の二人展 「LIFE と life」

OFS GALLERY 2024.4.18.Thu - 5.12.Sun



永井一正と永井一史による初の二人展、4月18日より開催。

異なったアプローチでクリエイティブを行ってきたデザイナー2人が同じテーマで創作  
新作ポスターに加え、映像作品の展示や会場限定のグッズも販売!

会期：2024.4.18(木)～2024.5.12(日)

会場：OFS GALLERY

親子で「デザイン」という大きなフィールドに立ちながら、全く異なったアプローチでクリエイティブの解釈を広げ続けてきた二人。永井一正は、幾何学的な表現からグラフィックデザイナーとしてのキャリアをスタートさせ、具象的な動物を描いたことをきっかけに作風を大きく転換させた。いのちを追求するLIFEシリーズは既に40年近く続くライフワークとなっている。一方、永井一史は、広告会社を経て2003年にHAKUHODO DESIGNを設立。概念をデザインすることに価値と面白さを見出し、ブランディングを中心に仕事をしている。それぞれの道に大きく関わってきたであろう、時代とともに流れる価値観の変化、そして親子としての関係性。

「昔、田中一光氏から親子企画をやりたいという打診があったのだが、自分に実績もなく断ったことがずっと心に残っていた。長くLIFEシリーズを見てきて、自分だったらどう表現するだろうと思った。」と今回の企画が生まれた経緯を永井一史は語る。

今だからこそ開催が実現した本展では、普遍的なモチーフをテーマに、新作ポスターや映像作品、対話のテキストなども通じて、解釈の相違点と共通点、二人の関係性をあぶり出していく。それぞれの文脈で紐解かれる「LIFE と life」をどうぞお楽しみください。

## ■ 開催概要

企画名：「LIFEとlife」永井一正と永井一史の二人展

会 期：2024年4月18日(木)～5月12日(日)

会 場：OFS GALLERY (OFS.TOKYO内)

OPEN：12:00～20:00 (最終入場は18:00まで)

CLOSE：火曜日・水曜日

入場料：無料

OFS.TOKYO

〒154-0001 東京都世田谷区池尻3-7-3

田園都市線池尻大橋駅〈西口〉から徒歩4分

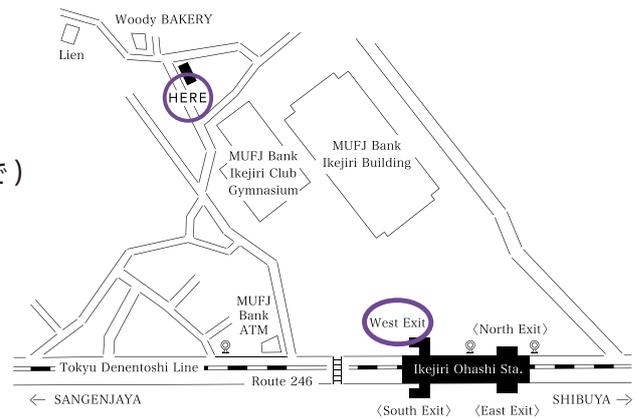
OPEN 12:00～20:00 (展示最終日は18:00まで)

CLOSE 火・水

TEL 03-6677-0575

www.ofs.tokyo

Instagram: @ofs\_tokyo



## ■ お二人のコメント



永井 一正

私は1951年からグラフィックデザインをはじめ、抽象的で宇宙を感じさせる空間を表現した制作を続けることで自分のスタイルを追求していった。しかし1986年に、生き物たちを登場させた。これまでの自分の積み重ねを捨て去るぐらいの大きな決断であった。それが今回の展示しているポスターである。今回発表の最新作まで、動物を描くLIFEシリーズは40年近く続くライフワークとなっている。LIFEというテーマを突き詰めてきたのは、幼少のころから体が弱かった自分自身を鼓舞するためであり、命の不思議さに魅せられたからである。また地球環境の悪化によって、生き物の生命が脅かされている現在、共生の大切さを感じてもらえればという願いを込めている。動物たちは、リアルな姿としてではない生命の象徴として、自由にプリミティブに描くことで、生きることを直截に訴えられないかと思い制作している。今回、貴重な機会をいただき、ありがたく思っている。



永井 一史

最初にデザインを意識したのは、5-6歳の頃だと思う。父の仕事を見て楽しそうだしこれなら自分もできると思って、紙にデザインを描いたことを憶えている。しかしそれ以降は、デザインとはまったく疎遠になった。再びデザインに目覚めたのは、高校3年のときであるから、デザイナーの中では、かなり遅い方である。広告会社に入り、2003年に会社を立ち上げ現在はブランディングを中心に仕事をしている。会社に入って少して、田中一光氏から、親子の展示企画の打診がきたことがあった。その時は、自分に実績もなく、お断りしてしまった。ただ、そのことが今に至るまで、心に残っていた。世界的なグラフィックデザイナーである父とLIFEというテーマのポスター制作で向き合うのは、無謀な試みかもしれないが、ひとつのチャレンジとして見ていただければと思う。

## ■ プロフィール

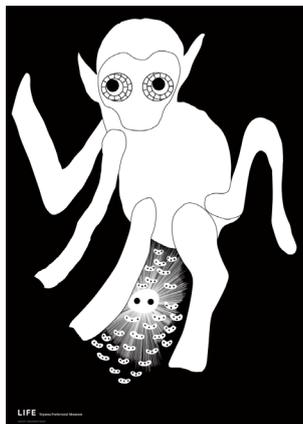
永井一正 ながいかずまさ グラフィックデザイナー

一九二九年大阪に生まれる。一九五一年東京藝術大学彫刻科中退。一九六〇年日本デザインセンター創設に田中 一光らと共に大阪から参加。一九七五年に代表取締役社長就任、現在は最高顧問。JAGDA特別顧問。札幌冬季オリンピック、沖縄海洋博、茨城県、新潟県、JA、アサヒビール、三菱 UFJ フィナンシャルグループなどをはじめとしたマーク、CI、ポスターを多数手がける。八〇年代後半より、動植物をモチーフとした「LIFE」シリーズをつくりはじめ、二〇〇三年より銅版画へと展開する。東京 ADC グランプリ、亀倉雄策賞、毎日デザイン賞、毎日芸術賞、芸術選奨文部大臣賞、紫綬褒章、旭日小綬賞、姫路市文化芸術大賞、ワルシャワ国際ポスタービエンナーレ金賞、ブルノ国際グラフィックビエンナーレグランプリなど国内外での受賞多数。また作品は、東京国立近代美術館、富山県立近代美術館、ニューヨーク近代美術館、メトロポリタン美術館など世界二十カ国以上の美術館に所蔵されている。

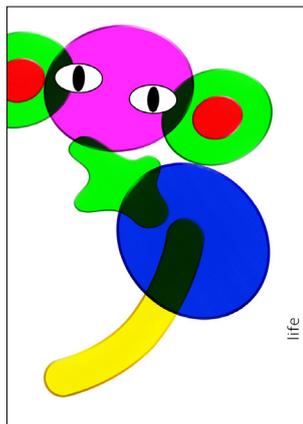
永井一史 ながいかずふみ アートディレクター

HAKUHODO DESIGN 代表取締役社長、多摩美術大学教授。多摩美術大学美術学部卒業後、博報堂に入社。2003年、デザインによるブランディングの会社 HAKUHODO DESIGN を設立。様々な企業・行政の経営改革支援や、事業、商品・サービスのブランディング、VIデザイン、プロジェクトデザインを手掛けている。また2012年より、多摩美術大学において、領域を横断するデザインを教える統合デザイン学科にて教えている。2015年から東京都「東京ブランド」クリエイティブディレクター、2015年から2017年までグッドデザイン賞審査委員長を務める。経済産業省・特許庁「産業競争力とデザインを考える研究会」委員も努めた。代表作に、ヘルプマーク、サントリー伊右衛門、TOKYOTOKYO、森ビル、ユーハイムの仕事がある。クリエイター・オブ・ザ・イヤー、ADC賞グランプリ、毎日デザイン賞など国内外受賞歴多数。著書に『博報堂デザインのブランディング』『これからのデザイン経営』など

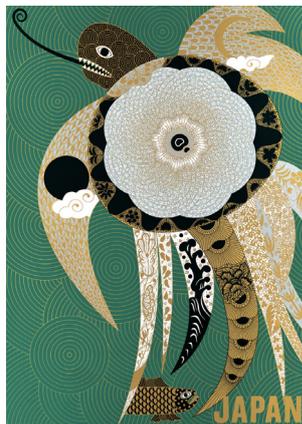
## ■ 永井一正と永井一史の同一テーマによる最新作ポスター



KAZUMASA NAGAI < LIFE > 2024



KAZUFUMI NAGAI < life > 2024



KAZUMASA NAGAI < JAPAN > 1986

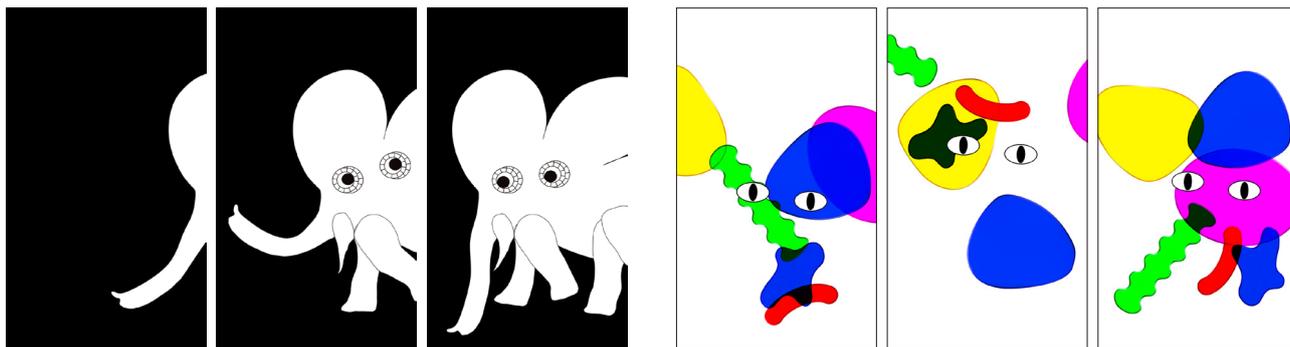


KAZUFUMI NAGAI < life > 2024

永井一正は、最初に動物を登場させた、1986年のシリーズと、最新作の LIFE を展示する。グラフィックの時代、手描きの時代、銅版画を用いた時代など、抽象的なグラフィックの時代から、身体性を伴った表現として LIFE の世界を40年近くの間突き詰めてきた。新作では震える線で描かれた、生き物に加えて命や、魂のような新しいモチーフを取り入れた新しい表現に挑戦している。永井一史は今回、LIFE をテーマとしてうけとりつつ、グラフィックデザインとして、生き物をどう解釈していくかに挑戦、テクノロジーの進化とともに、自然の身体だけではなく、テクノロジーと共存、共生していく世界観を描いている。

※ 展示会場では新作の原寸ポスターを販売しております。

## ■ 映像作品「LIFEとlife」



## ■ 永井一正のこれまでの過去作品もデジタル展示、販売



これまでの LIFE シリーズをオンスクリーンで展示。その中から選ばれたオリジナルのポスターの販売を行います。自己にとって他者にとって、すべての生物にとって最も重要な「命」をテーマに、常に新たな表現方法に挑みつけてきた軌跡をご覧ください。

## ■ 「原研哉 × 永井一史」トークセッション



現在日本デザインセンターの社長である原研哉氏は、日本デザインセンターの創業メンバーである永井一正と長い時間を共にしてきた。ある意味、最も永井一正を直近で見えてきたデザイナーである。同時に、永井一史とは、同時代のデザイナーであり、プライベートにおいては、10年来的茶道の仲間でもあるという。このトークでは、永井一正の本質は何なのか？永井一正、永井一史の違いは何か？果たして共通するものはあるのか？など、時代背景や、仕事のフィールド、価値観の違いなどを中心に、原研哉氏に永井一史が尋ねていく。

日時：4月22日(月) 18:30～

会場：OFS GALLERY

出演：原研哉、永井一史

料金：無料

定員：30名(ご予約制)

※ご予約方法はOFS.TOKYOのHP, SNSにてご確認ください。

その他、関連イベントの開催を予定しております。詳細が決まり次第、OFS.TOKYOのSNSにてお知らせいたします。

※ 展示の最新情報は公式 Web サイトと SNS で随時更新いたします。



[www.ofs.tokyo](http://www.ofs.tokyo)



@ofs\_tokyo

本件に関するお問い合わせ：OFS.TOKYO <プレス担当：寺田>

〒154-0001 東京都世田谷区池尻 3-7-3

Tel / 03-6677-0575 e-mail / terada@ki-gi.com